

施設

人口増加に伴う小中学校の今後は

6教室分の増築を予定

問

第二小学校区内においては、大規模な開発行為に伴う宅地造成が進んでいます。須恵町の人口増加は喜ぶことではあると考えますが、今後、各小中学校の生徒数に対して教室は足りるのか心配です。現在どのような状況なのかをお尋ねします。

また、人口増加に伴い生徒

数の増加が予想されることから、各小中学校施設の増築等、どのように考えているのかをお尋ねします。

答 吉本学校教育課長

現在把握している開発は、須恵東中学校下の赤坂農地の開発です。住宅戸数は86件で、小中学校の学級数への影響は、令和7年度以降になると考えています。

ればと考えています。予算計上した際は、改めてご審議をお願いいたします。

答 平松町長

学校の校舎問題は、建てれば良いということではなく、建てた後、人口が減ったときにどうするのかという問題があります。人口の動向を教育委員会に調べさせ、その上で増築を行っている状況です。

今後、経済がどうなるかわかりません。人口流入も減り、出生率も落ちてくる可能性もありますので、慎重に対応していきたいと思えます。



答弁中の平松町長

○「問」については、議員が提出した要約文のとおり掲載しており、編集は行っていません。

ここが聞きたい!

一般質問

○一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることです。

交通

通学路の安全確保は

地域の子どもは地域で守る

問

現在須恵町の各地域では、ボランティアで、登校時の見守りをされていますが、登下校時の見守りの現状は把握されていますか。

下校時の見守りについては、ボランティアでは、限界があると思います。そこで、元気な高齢者(例えば、シルバール人材センターなど)に見守り

を補っていただけるような仕組みづくりはできないでしょうか。

また、通学路における危険箇所の点検や安全対策の実施および情報の共有を図るなど、未来を担う子どもたちの命を守る対策は最優先と考えます。町長のお考えをお尋ねします。

答 吉本学校教育課長

現在、各ボランティアの皆さまをはじめ、区長会や育成会およびPTAが協力しながら児童生徒の安全確保に努めていただいています。各小

学校区においても、学校支援活動の一環として長年通学

路の安全確認および見守りなどを実施していただいています。個人でも見守り活動をされていることは知っています。活動人数や場所については、把握していません。

下校時の見守り活動については、地域の子どもは地域で守ることを目的として校区コミュニティでも活動されていますので、コミュニティを支援する立場上、業務委託を検討する予定はありません。

通学路の危険箇所については、毎年開催されている小中学校PTA連絡協議会で改善要望が提出され、対応した結果などを報告し、関係団体との情報共有をしています。

答 平松町長

須恵町は、生涯学習の一環として小学校区ごとにコミュニティを置いています。子ど



稲永辰己 議員



男澤一夫 議員

今後の児童生徒の増加を注視し、施設の改修や増築の検討が必要と考えており、本年度は、6教室分の増築の設計業務委託を予定しています。その増築費用の補助金申請を令和6年度に行い、令和7年度に着工でき



平成26年1月に増築された校舎(第二小)



交通量の多い通学路

映像配信



映像配信

